



アクセシビリティ・コミュニケーション支援センター X (旧Twitter)

https://twitter.com/access_KIT

自閉スペクトラム圏の学生への支援 — 修学・就労、メンタルヘルス —

アクセシビリティ・コミュニケーション支援センター / 基盤科学系

公認心理師・臨床心理士・特別支援教育士

三好 智子

自閉スペクトラム症 (ASD:Autism Spectrum Disorder) とは

発達障害 (神経発達症:ASD、ADHD (注意欠如・多動症)、SLD (限局性学習症) 等) の一つ

- ①社会的コミュニケーションや対人的やりとりの困難、独特さ
- ②こだわりの強さ
- ③感覚の過敏さ・鈍感さ

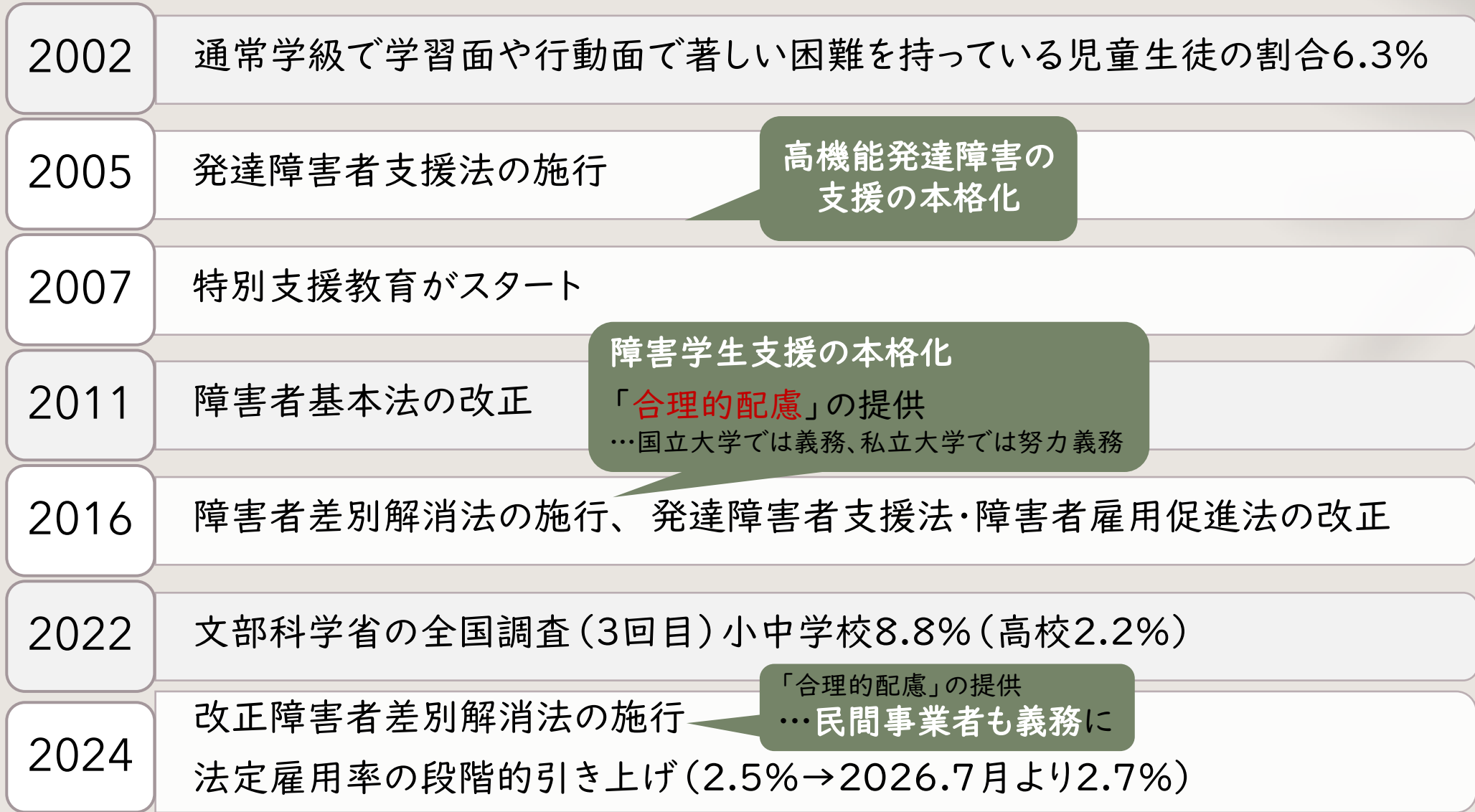


【困りごとの例】

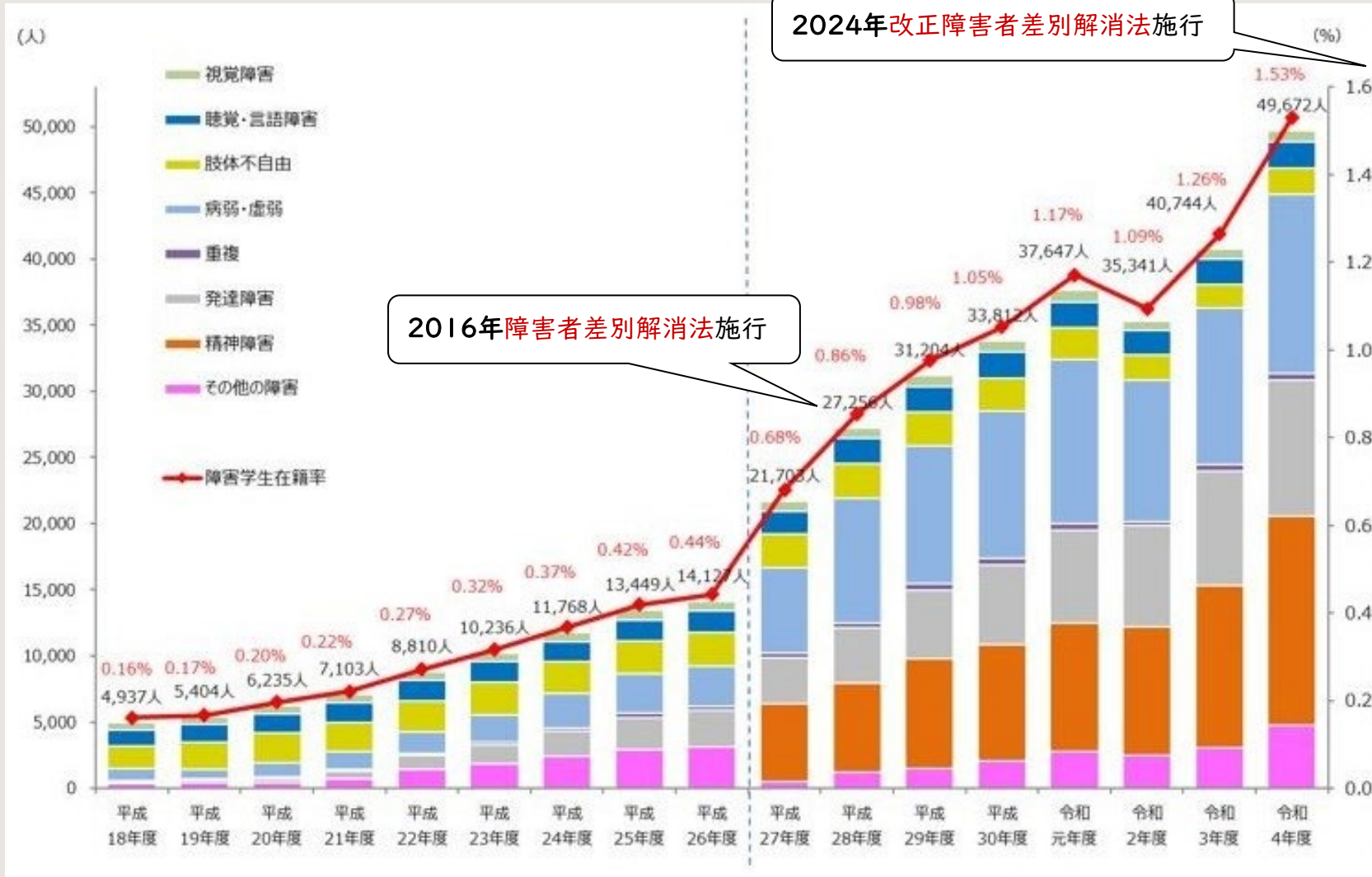
- 話の意図をつかむのが苦手。指示語(「あれ」「それ」)や比喩が理解しにくい。
- 困難の言語化が難しい。SOSが出せない。
- レポートがまとめられない、提出できない。
- 急な予定変更に混乱しやすい。
- 友達、相談相手がいない。人間関係がうまくいかない。
- 対人関係や感覚面の負荷により、体調を崩しやすい。

→支援のアプローチとして「相談」よりも「説明」が有効
(三好・後藤・藤川,2021)

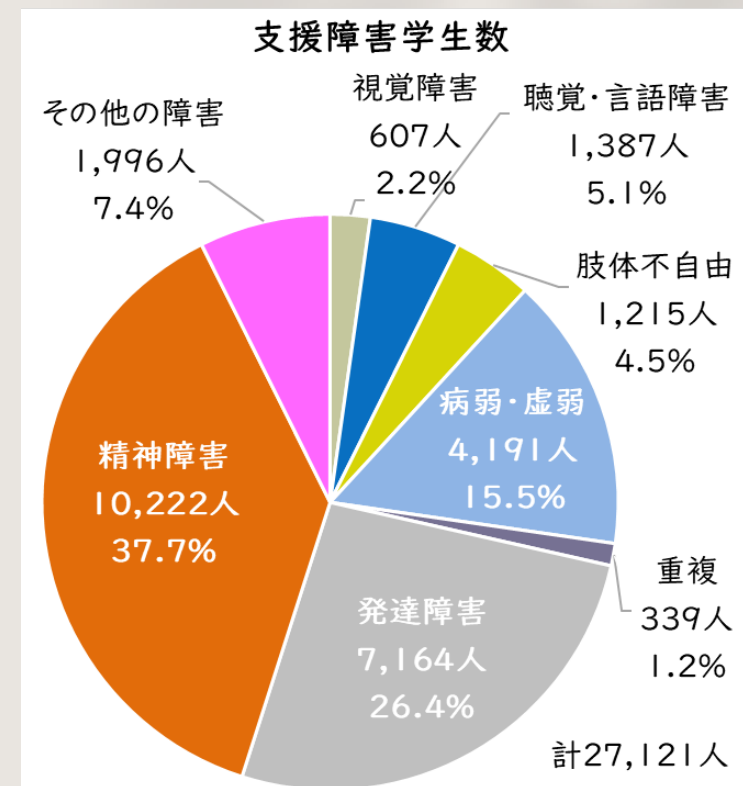
発達障害支援をめぐる社会の動向



大学における障害学生支援



- 発達障害・精神障害の増加が著しい
- 修学支援が本格化するとともに、卒業後の進路を見据えた支援が課題に



令和4年度(2022年度)障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果(日本学生支援機構)より

ASD学生の支援をめぐる課題

1. 能力のメリハリが大きい

- 高い能力を持っている場合も少なくない。一方で、**得意・不得意の差が大きい**。
- 強みやユニークな個性が活かされないまま、単位取得不振、**メンタルヘルスの問題**等により、退学に至るケースも。

2. 卒業後の進路の問題

- 一般学生の就職率(74.5%)^{※1}に対し、発達障害学生の就職率(42.4%)^{※2}は低い。

※1 卒業者に占める就職者の割合(令和4年学校基本調査より)

※2 令和4年度(2022年度)障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果より

ASD学生が能力を発揮し、それを進路につなげていくために必要な支援とは？

ASDのある人の資質・能力

□ASDと相性の良いSTEM (Science Technology Engineering Mathematics)

- ASDのある若者は、大学でSTEM分野を多く選択 (Wei et al., 2013)
- STEM分野を学ぶ学生は、自閉スペクトラムの得点が相対的に高い (若林, 2003, 他)

ASDとSTEM分野に共通する資質

⇒ 「高度にシステム化するマインド」 (バロン・コーエン, 2022)

☆ パターンを見抜く力、細部への注意力、正確さの追求

☆ 神経多様性 (Neurodiversity) のひとつ

— 「人類の発明史における中心的存在」 (バロン・コーエン, 2022)

— 「人類本来のヴァリエーション」 (正高, 2019)

- ◎ パターン認知、細部への注意力に強い。
- ◎ 計算や数の処理に強い。

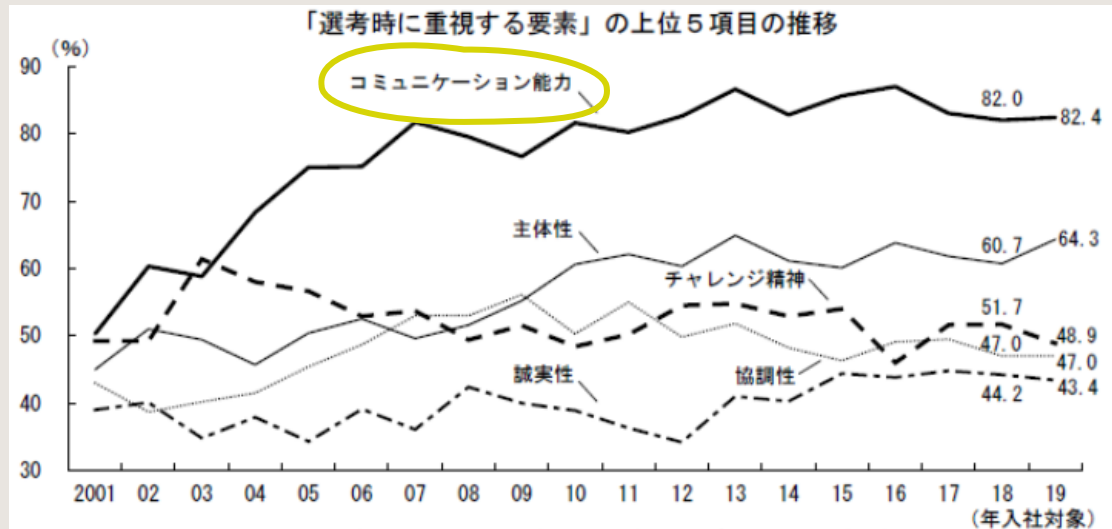
ASD学生と進路・社会

● 一般の採用面接

・・・アイコンタクト、ノンバーバルな手がかりの理解や
コミュニケーションスキルの問題

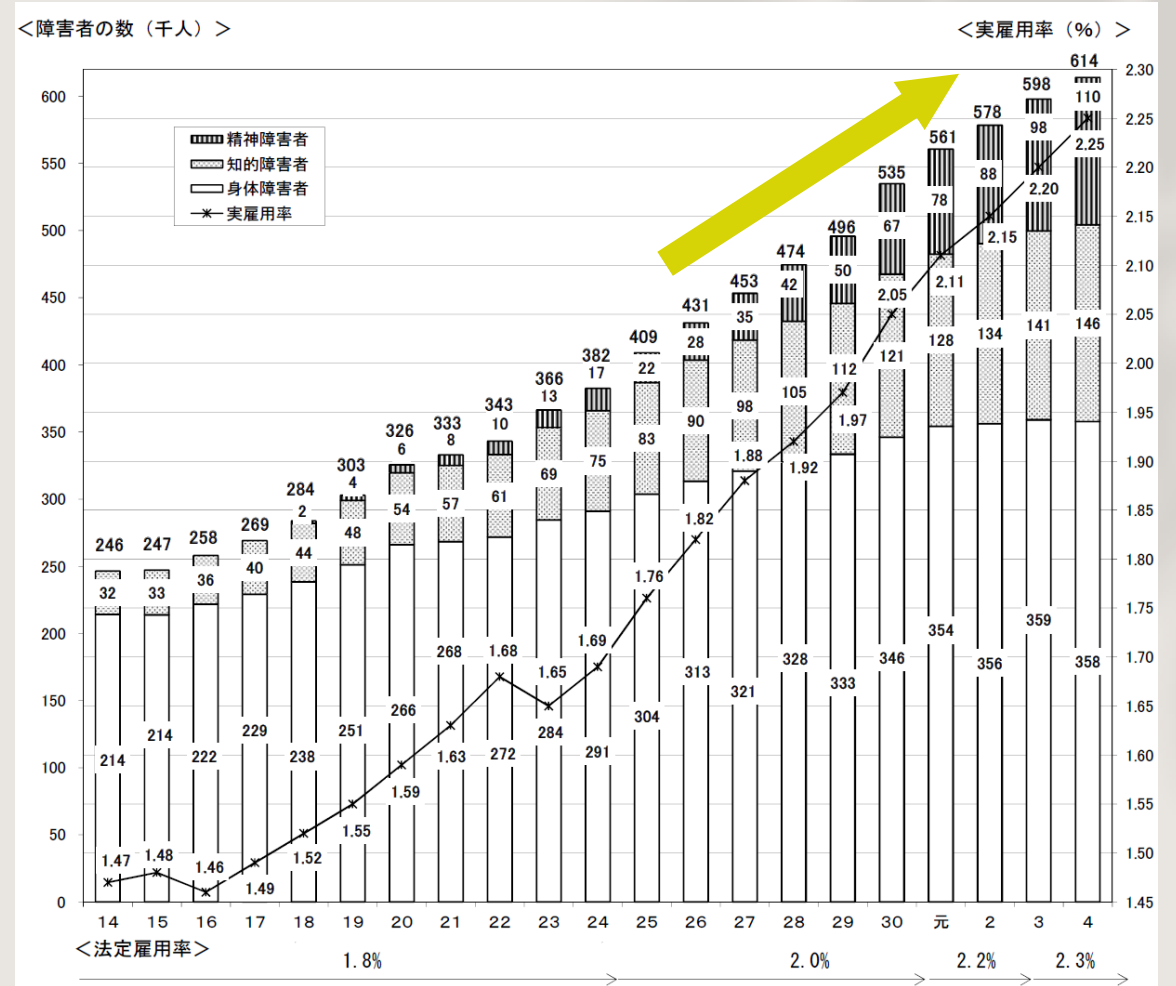
→得意なこと・できることを評価してもらえない。

“選考にあたって特に重視した点”
「コミュニケーション能力」が長らく第1位



一般社団法人 日本経済団体連合会
「2018年度 新卒採用に関するアンケート調査結果」より

民間企業における障害者の雇用状況



厚生労働省「令和4年 障害者雇用状況の集計結果」より

- 民間企業で働く障害のある人の数は、増え続けている。
→発達・精神障害のある人を雇用する体制やノウハウはこれから。

ASDのある人とメンタルヘルスの問題

➤ 自閉スペクトラム症のある人と二次障害

幼児期	生得的な対人認知の個性や独特さ →愛着形成(人になつて安心を得る)が難しいことがある。
学童期	場の空気や暗黙のルールを掴むのが不得手 →「いじめ」や「いじり」の対象になることも
思春期以降	他者の感情・思考が理解しにくい、理解の仕方が個性的。 周囲と興味関心や感覚を共有しにくい。 →仲間関係を築きにくい、入りにくい。 →周囲に溶け込むため、「過剰適応」や「カモフラージュ」して過ごすことも。

集団・対人関係における傷つき・疲弊
失敗体験

↓
無気力・対人不信・孤立
アイデンティティの問題



二次的な困難

不登校 ひきこもり
メンタルヘルスの問題

ASD学生の能力を専門職就労へとつなげる修学・就労支援

入学

修学期／就職準備期

就職活動期

卒業

卒業後

1. 修学支援

2. 社会への移行
就労支援

修学期／就職準備期

➤ アセスメント

チェックリスト、心理検査を利用しての認知特性、修学上の困難の把握

➤ 「合理的配慮」の策定と提供

➤ 修学支援の実際

- カウンセリング、医療との連携
- 指導教員との連携
- ピアチューターによる学習サポート
- グループ活動

メンタルヘルスのケア

学生による学生の支援

➤ 就職準備の支援

- 学内アルバイト
- ピアチューター経験

見守りのある中での
社会経験

就職活動期／卒業後

➤ 専門性の明確化 ⇒ 専門分野におけるスキル・強味の抽出

➤ 就職活動の支援

- キャリア支援室の利用
- ハローワークによる特別支援
- 就労移行支援事業所の利用

連携が重要

➤ 卒業後の支援

- 就労支援機関の利用
- 就職先との連携
- 個別のフォローアップ

*障害を開示するか、しないか

非開示で決まる例

(内定後に障害を告げることも)

開示して決まる例

開示して不合格、非開示で合格の例

…など

引用文献

- バロン・コーエン,S. 岡本卓・和田秀樹監訳(2022). ザ・パターン・シーカー 化学同人
- 正高信男(2019). ニューロダイバーシティと発達障害:『天才はなぜ生まれるか』再考 北大路書房
- 三好智子・後藤伸彦・藤川洋子(2021). 発達特性に関連した困り感とメンタルヘルスの関連—チェックリストを用いたアプローチ方法の検討. CAMPUS HEALTH, 58(2), Pp.219-226.
- 文部科学省(2022). 令和4年学校基本調査<https://www.mext.go.jp/content/20221221-mxt_chousa01-000024177_001.pdf>(2023年9月22日閲覧)
- 日本学生支援機構(2023). 令和4年度(2022年度)障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書<https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_shogai_syugaku/_icsFiles/afieldfile/2023/09/13/2022_houkoku3.pdf>(2023年9月22日閲覧)
- 日本経済団体連合会(2018). 2018年度新卒採用に関するアンケート調査結果<<https://www.keidanren.or.jp/policy/2018/110.pdf>>(2023年9月22日閲覧)
- 若林明雄(2003). 健常者における自閉症スペクトラム仮説の妥当性:大学生の専攻分野とAQ得点との関係からの検討. 自閉症スペクトラム研究, 2, Pp.11-20.
- Wei, X., et al.(2013). Science, technology, engineering, and mathematics (STEM) participation among college students with an autism spectrum disorder. *J Autism Dev Disord*, 43(7), 1539-1546.